

第9回がごしまデータ科学シンポジウム in FUKUOKA
暫定プログラム (2025年12月09日版)

会期:2025年12月15日(月)~16日(火), 会場:福岡商工会議所

1日目(12月15日(月))

受付開始(13:00~):会議室301

第1会場(会議室301)		第2会場(会議室403～404)	
Session1a	CDISC-導入編- 座長：石田達文 (PPDSNBL)、藤田昇一 (武田薬品工業)	Session1b	医療DXとAI 座長：下川敏雄 (和歌山県立医科大学)
13:30～13:55	つながる！CDISCの世界～前編～ ～Raw dataからSDTMまでの「流れ」を実務ベースで解説～ 演者：藤田昇一 (武田薬品工業(株))	13:30～13:55	医工連携による在宅医療DX 演者：西川彰則 (和歌山県立医科大学)
13:55～14:20	国立がん研究センター東病院データ管理室におけるCDISCの利用状況と課題 演者：池田裕将 (国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 臨床研究推進部 データ管理室)	13:55～14:20	生成AIは道具か、相棒か？ ― “やってみてわかった”こと 演者：深瀬恭子 (札幌医科大学)
14:20～14:45	SDTM業務を“いつかやりたい”から“今やる”に変える ～最速で「戦力化」するトレーニング・ロードマップ～ 演者：大塚広貴 (PPDSNBL)	14:20～14:45	見えないうちに見える化する医療AI - EUREKAの挑戦 - 演者：下宮大和・矢澤 滯 (アナウト株式会社)
Session2a	CDISC-実務編- 座長：石田達文 (PPDSNBL)、北山恵 (和歌山県立医科大学)	Session2b	公的統計セッション： 国勢調査データの特徴と利活用 片野田耕太 (国立がん研究センター がん対策研究所)
15:00～15:25	つながる！CDISCの世界～後編～ ～SDTMからAdAm、帳票作成の「舞台裏」を実務ベースで解説～ 演者：藤田昇一 (武田薬品工業(株))、吉田直紀 (武田薬品工業(株))	15:00～15:25	国勢調査データの特徴 演者：埴浦知哉 (京都大学) オンライン
15:25～15:50	申請を超えたP21活用術 ～Pinnacle21で実現するCDISC準拠データへの近道～ 演者：石田達文 (PPDSNBL)、平岡壽公 (PPDSNBL)	15:25～15:50	2020年国勢調査と人口動態統計のデータリンケージによるCOVID-19死亡率の分析 演者：田中宏和 (国立がん研究センター)
15:50～16:15	m5フォルダのその先 ～申請電子データの当局提出～ 演者：橋本千恵 (大塚製薬(株))	15:50～16:15	国勢調査・人口動態調査・国民生活基礎調査を用いた高齢者疾病構造の将来予測モデル構築 演者：笠島めぐみ (敬愛大学)

情報交換会 (18:00～)

2日目(12月16日(火))

第1会場(会議室301)		第2会場(会議室403~404)	
Session3a	疫学セッション1 座長：伊藤ゆり(大阪医科薬科大学)	Session3b	臨床薬理セッション 座長：及川伊知郎(大分大学)
10:00~10:25	生活習慣と甲状腺がんリスクの関連：大規模コホート研究による知見 演者：谷島美里奈（国立がん研究センターがん対策研究所 予防研究部）	10:00~10:30	PK/PD解析にいまデジタルがもたらすもの—早期G/Gと価値創成— 演者：寺尾公男（中外製薬(株) トランスレーショナルリサーチ本部）
10:25~10:50	糖質摂取と大腸がん罹患リスクの関連：多目的コホート研究と米国多民族コホート研究 演者：金原里恵子（国立がん研究センターがん対策研究所 コホート研究部）	10:30~11:00	データロック前にコーヒーズを：薬理＊統計＊開発戦略＊規制が交錯する未来志向コラボとは？ 演者：吉次広知（MSD（株） グローバル研究開発本部）
10:50~11:15	地理的制約指標別のがん年齢調整死亡率のトレンド 演者：片岡 葵（神戸大学大学院医学研究科未来医学講座分子疫学分野）		
昼休憩（11:15~13:00）			
Session4a	AI時代におけるMedical Writerにもとめられる専門性 米山昭成(PPDSNBL)	Session4b	学生セッション1 座長：越智義道(放送大学)
13:00~14:15	AI Document Authoring 演者：Maria Hopfgarten(Thermo Fisher Scientific)	13:00~13:25	潜在アウトカムに基づく疾患リスクスコアについて 演者：大田美翠・篠田寛・武田裕里子・三枝祐輔・山本紘司（横浜市立大学）
		13:25~13:55	イベントが発生しない研究を含むメタ解析の統計手法の比較 演者：加茂野絵美・三枝祐輔・山本紘司（横浜市立大学）
		13:55~14:15	AIによる感情分析とfMRIを用いた脳活動の対応関係の検討 演者：山本緑、石丸悠子、川口淳（佐賀大学）

演者：山本緑，石丸悠子，川口淳（佐賀大学）

Session5a	医療統計セッション1 座長：池田公俊（アプヴィ合同会社）
14:30～14:55	メタアナリシスの臨床試験への活用 演者：花田圭佑（和歌山県立医科大学）
14:55～15:20	Hybrid Control Design with Commensurate Prior Constructed Using Propensity Score-Matched External Controls: A Simulation Study 演者：武田純（アステラス製薬株式会社）、山口祐介、武田健太郎（Astellas Pharma Global Development, Inc.）、丸尾 和司（筑波大学）
15:20～15:45	非劣性の評価を目的とした観察研究における感度分析 演者：加葉田 大志朗（神戸大学）

Session5b	学生セッション2 座長：宿久洋（同志社大学）
14:30～14:55	Sparse Fuzzy Clusterwise Regressionの性能比較 演者：佐藤文寛、谷岡健資（同志社大学）
14:55～15:20	グラフ構造を考慮した共有潜在空間でのRNA velocity比較 演者：久保幸平（同志社大学）、岡部晴樹（名古屋大学）、宿久洋（同志社大学）
15:20～15:45	ベイズ法と頻度法における結果の比較とサンプルサイズ削減可能性の検討 演者：橋本 光平、新谷 歩（大阪公立大学）

パネルディスカッション(会議室301) 18:00~18:00	今後の医療統計における潮流
---------------------------------	---------------

今後の医療統計における潮流
丸尾 和司(筑波大学)、谷岡健資(同志社大学)